

わたしの好きな一曲 思い出の一曲 PART2



さまざまな場面で、常に身近に存在する音楽は、私たちの生活に欠かせないものになっています。そこで、今回は、昨年に引き続きおすすめ曲や、思い出の曲など『好きな一曲』を幅広い世代の方々に教えていただきました。

(担当) 新井紀子、三塚好江、小山由佳、吉川悦子、菊池悦子

水村 由起子さん

私は、高校時代、マンドリン部に所属していました。当時は、五月に定期演奏会があり、毎日朝早くから放課後の八時近くまで練習に明け暮れ、様々な曲を演奏しました。

中でも忘れられないのが、三年生の定期演奏会で最後に演奏した松任谷由実さんの『翳りゆく部屋』です。今でもパイプオルガンの荘厳な響きから始まるこの曲を聴くと、「もうこれで終わりなんだ。」と泣きながら演奏した舞台の光景を、昨日のことのように思い出し、懐かしさでいっぱいになります。

ユーミンのコンサートでは、なかなか聴けない隠れた名曲ですが、いつか生で聴ける日を楽しみに、今年もコンサートに足を運ぼうと思っています。



堀口 悦正さん

私の好きな歌は、岡林信康の『友よ』です。卒業式が終わり教室に戻って、クラスメイト全員で「友よ夜明け前の闇の中で...友よ輝くあしたがある」と歌い、別れを告げてから52年ぶりにクラス会を開催しました。

昔と変わらない友、髪の毛が薄くなった友、太った友、病氣療養中の友、そして亡くなった友。

一人ひとり52年間の出来事、家族の事、持病の自慢話や昔話で盛り上がり、時間が過ぎるのも忘れるぐらい楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

最後は、52年前と同じように肩を組み、「友よ、のぼりくる朝日の中で...友よ、輝くあしたがある」と歌い、元気でまた会おうと約束しました。

頑張っって信じて生きていけば輝く明日がある。この歌の好きな理由です。また会おう、それまで元気で...友よ。



新井 琉羽さん

私の思い出の曲は、『旅立ちの日に』という合唱曲です。

この曲は、昨年度、中学校を卒業する時に式で全体合唱として、卒業生と在校生みんなで一番最後に歌った曲です。

とても大切な曲。私は人生で初めて指揮者を務めました。

名前を呼ばれて舞台の上から全校生徒の姿を目にした時、涙が溢れそうになるのをぐっと堪えました。みんなしっかりと、とても素敵な歌声で、すべてがひとつになった瞬間だと感じました。

これが本当に中学校生活最後ののだと実感した瞬間、思わず涙が溢れてしまいました。指揮をやり遂げることができました。

あの景色は、今でも鮮明に覚えています。一生忘れることはないでしょう。



岡田 達哉さん

『モンキーマジック』(ゴダイゴ)最近、小二になる息子と良く聴いている曲です。車メーカーのCMにも起用されており、(とはいえ、こちらは石野卓球リミックスでテクノ調)子どもにも馴染みがあるようです。

気になったので自分でもサブスクで聴いてみると、これがまた良い。曲の出だしに、西遊記を彷彿とさせる「アチャョ」の掛け声と、独特のベース音。70年代後半の曲とは思えないリズム感とグルーブ感が味わえる名曲だと感じました。

R&Bの名曲、『セプテンバー』もこの頃リリースされているので、多分影響を受けているんですかねえ。ご存じの方、教えてください。良い音楽は時間を忘れませうね。



栗原 より子さん

音痴な私が音楽嫌いになりかけていた中学の時、音楽の先生が「歌がヘタでも一番のリスナーにはなれる。」と一言。

以来、フォーク、ロック、津軽三味線と広く浅く音楽に親しんできました。

社会人になって、「チューリップの財津さんの声が好き」と言った私に、同僚が貸してくれたのが、元はっぴいえんど大瀧詠一さんのソロLPの一曲、「♪楽しい夜更かし♪」と何ともユルい気分になれる歌。今でも時に口ずさみます。

もう一曲は、泉谷しげる御大の『君の席』。時に我慢も必要と教えてくれた歌です。硬軟二曲に支えられ(本当？笑)、お蔭様で勤続20年の時に会社から特別休暇をいただき、音楽の都ウィーンでミュージカル「エリザベート」を楽しみましたとサ。

絞りに絞ったけど二曲、うち一曲は曲名も？で失礼しました。

